

【23_109技術系メルマガ】トレードを安定させる『3種の神器』

〇〇さん

こんにちは、クロです。

5月末に新規募集を締め切ることを決定している当オンラインサロン(omukuroファーム)では

自分の腕と度胸に自信のある人(笑)に向けて、資金の運用をお任せするトレーダー(プロップとレーダー)を内々に募集しています。

(表向きにはやっていません、最低でもサロン内の理念に共感してくれる人の中から、確かな実力を持った人を採用するスタイルです)

もちろん、志願者はすぐ採用！とはならず、幾度もテストやこちらの課題に取り組んでもらいながら

長い教育機関を経て、十分な水準の実力を付けて貰うようにしています。

(実は、その中でのやり取りや指導経緯を体系化して、ある講座をやる事も計画しているのですが、それはまだ先のお話です)

今日は、そのプロップを志願している人に先ず創ってもらう『3種の神器』を紹介しようと思います。

僕が授けるわけではありません。『自分で創る』というところがポイントです。

▼参考ツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1647062791193526272?s=20>

先日、それに関するツイートもしているのですが、まああまりピンと来た人は多くないようです(笑)

見ただけですぐ実績に繋がるような話でもないのに、無理もないかと思いますが。。。

リンク先にも書いたように、確立すべき『3種の神器』というのは

～～

『目線』と『セットアップ』によるエントリーの型作りと

それを運用する際の『リスク管理』

～～

これらをバランスよく鍛え上げることにあります。

『目線』というのは、そのトレードスタイルに応じて、【どの時間足を基準として、自分のエントリーする/しない の判断をするか。また、する場合の方向はどちらか】

を、一貫した基準に基づいて判断する事です。

僕のスタイルを例にするなら、『H1/20MAのグランビルとトレンドに基づく方向性＋上位足の空間幅』で

トレードの方向を決めるものです(これも、講座・サロン参加者は分かっていると思います)

次に、『セットアップ』。これは【どんなパターンが発生したら『目線』方向にトレードするか】

すなわち、最後の引き金を引くためのパターン認識を一貫して行うルール作りです。

僕の場合、『M5～M15足のMAタッチとチャートパターン』ですね(メルマガ【90】通目参照)

この2つを決めたら、後は検証母数を集めてルールを言語化し、そのルールに基づいてFT5やデモ口座を使ったパフォーマンステストを行います。

(先ずはこの段階で、月間利回り10%以上を目指してもらいます)

そして、3つ目の要素。

ある意味これが最も重要になりますが、それはズバリ『リスク管理』です。

しかし、これはそこまで複雑な事を考えてもらうわけではなく、『1回のトレードでの最大損失率』を決めてもらいます。

この数字を決めてしまえば、口座資金に応じて張るべきロット数も、その日のエントリー回数もおのずと決まってくるので

この数値設定を最初に行う事で、口座資金を全損することを未然に防ぎます。

取り組み初めの人には、この数値は『3%以内』を指定する事が多いですが、あとは技量に応じて『5～6%』まで引き上げる場合もあります。

このように、テクニカル的側面とリスク管理の側面から、徐々に足場を固めることで安定したトレードスタイル(=型)を作っていきます。

巷でいわれるような「テクニカルを究めるだけで勝てる」だの「資金管理さえやっていれば負けない」だの

僕に言わせればそんな極論では、この不確実な相場には対処できません。

最初は良かったとしても、どこかのタイミングで必ず破綻します。

楽な道など無いんだという事を理解した人から、徐々にトレードの収支も安定していくわけです。